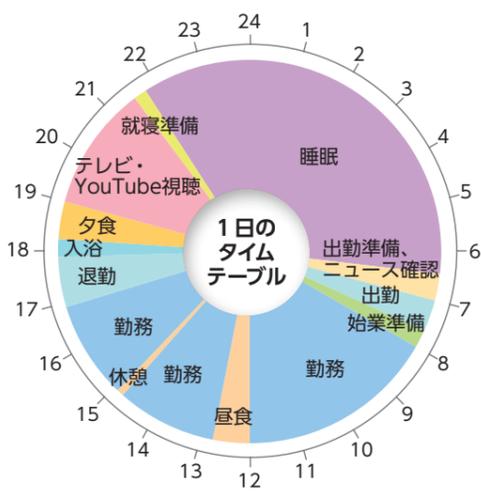


# 高品質製品を開発し続ける老舗鑄造メーカー。



**休**みの日は、季節に関係なくキャンプに行っているのんびり過ごしたり、県外にギョーザを食べに行ったりすることもあります。そんな私がよく食事に行くのが、溝辺町にある「サンライト」。小さい頃から家族で通っている店で、今は幼なじみが切り盛りしています。昔から決まって注文するのがチキンカツカレー。友達の間でも、ここのカレーに勝る味はないというほど絶品で、他のカレーでは満足できません。大きな皿に隙間なく盛られたご飯の上に山盛りのチキンカツ、そしてそれらを覆うように注がれたカレーはボリューム満点。けれどペロリと平らげてしまえるのは、味わい深いこの店のカレーだからこそです。チキン南蛮やハンバーグも人気で、夏は白熊などのかき氷もお勧めですよ。



**サンライト**  
 ●場所=溝辺町麓1365-3  
 ●営業時間=午前11時~午後2時30分ラストオーダー、午後6時~7時30分ラストオーダー  
 ●店休日=月曜 ●駐車場=9台  
 ☎=サンライト ☎(58)3747



前橋橋本合金株式会社九州工場 鑄造課  
**高田翼さん(39)**  
 溝辺町出身。単工業高校電子機械科卒業。令和5年入社。趣味はキャンプ。単人町在住。

**大** 正7年創業の歴史ある鑄造メーカー・前橋橋本合金(株)。「多品種少量の高付加価値、高品質製品の開発」を理念に掲げ、主にアルミニウムを用いて鑄物製品の軽量化、高気密化を追求するとともに、常に次世代を見据えた新技術の開発を続けています。手掛ける製品は重さ1kgから200kgまで幅広く、中には5年おきにつだけ鑄造するような物も。代表取締役の橋本浩伸さん(40)は「コストとのバランスを取りながら高品質を維持するために、QC(クオリティコントロール)委員会という品質管理の場を毎週設け、開催回数は2千回を超えます。また、



「土日・祝日が休みで長期休みも取れるのが、就職の決め手でした」と話すのは、昨年から同工場に勤める高田翼さん(39)です。高田さんは製造業や飲食業を経て、現在の仕事に出会いました。「製造業に勤めていたので図面を読むことはできましたが、手作業で行うこの仕事は、やってみないと分からないことばかり。自分が担当する砂を固めて型を作る工程は、素早く行かないとすぐ崩れてしまうので、スピードが重視されます。製品を作る最初の工程なので、責任重大です」と高田さんは話します。「流れ作業の仕事ですが、誰かが抜けても周りがフォローし合える体制が整っています。休みも取りやすい」と笑う高田さんの表情には、充実感がにじんでいます。

手作業の部分が多い仕事ですが、職人技に鑄造シミュレーションなどのデジタルを取り入れ、常に改善・開発に取り組んでいます」と胸を張ります。同社の九州工場が横川町に建てられたのは平成元年のこと。社員の中には勤務歴30年を超える人もおり、経験豊かな人材がそろっています。「製造業では珍しく、土日・祝日が休みです。家族手当もあって、ワークライフバランスが取りやすい職場だからこそ、長く働いてもらえるのかもしれない」と高田さんは話します。

## ワーク vol.75

霧島市にはたくさんの企業があり、そこで多くの若者が生き生きと働いています。このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。第75回は、前橋橋本合金株式会社の高田翼さん(39)です。就職を控える生徒や学生の皆さん、ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。

### 取材協力企業 前橋橋本合金株式会社 九州工場

横川町上ノ3414-28 ☎(72)1385  
<https://www.hashimoto-alloy.co.jp/> 前橋橋本合金 検索

全社情報	代表者: 橋本 浩伸	月均残業時間: 8時間
	創業: 大正7年	採用実績(新卒/中途): 2人(0人/2人、令和6年度)
	資本金: 1,000万円	従業員数(男/女): 58人(53人/5人)
	売上高: 8億円(令和5年度)	有給休暇の平均取得日数: 10日/年
	初任給: 18万円~	育児休業取得者数(男/女): 0人(令和5年度)
	平均年齢: 49歳	勤務時間: 午前8時~午後4時55分(年間休日125日)



市ホームページで、このコーナーのバックナンバーをご覧ください。